



# せのじむ法務ページ

平成30年9月号  
Vol.125

★水虫になった足は洗面器に50度弱の熱めのお湯を注ぎ、適当な大きさに切ったニンニクに10分ほど足を浸せばよい

## 今月の読みどころ



- ★人事労務トピックス 「働き方改革関連法の施行」
- ★中小企業の人材採用 「応募者が重視している情報を伝えていますか？」
- ★チャレンジカンパニー 「自然と笑顔がこぼれるデイサービス・笠岡市」



## 徒然なるままに Vol.87

### 「人口減少日本と働き方改革」

お盆休みに同級生と会って、久しぶりに昔話に花を咲かせた社会保険労務士・行政書士の妹尾です。

話題が、老眼や血圧、髪の毛など身体のことを中心で、そういう年になったんだなと実感してしまいました。(汗)身体はいつまでも元気だとは思ってはいませんが、気持ちはいつまでも元気でいたいものですね。

年をとるといえば、先日、「未来の年表2～人口減少日本であなたに起きること」(講談社現代新書)という本を読みました。来年度から随時、施行されていく「働き方改革(関連法)」も「人口減少日本」を踏まえてなされた政策なので、読んでおきたい一冊でした。

現在、2016年の出生数が97万人、2017年の死亡数が134万人で人口が40万人も減少する人口減少局面が進んでいます。合計特殊出生率(1人の女性が生涯に出産する子供数の数値)はあがったものの、出生数は100万人を割り、過去最高の死亡数であることを考えると、人口減少は予想を上回るスピードで進むと予測されています。

「人口減少日本」の5年後、10年後に何が起きるのか、具体的に私たちの生活にどのような影響があるのか、考えさせられる内容でした。

例えば、一人暮らしの高齢者が増え、広い家に一人で住むようになるため、自宅での事故が増えるということ。

普段使用している部屋とそうでない部屋との気温差が激しいと「ヒートショック」といわれる急激な温度変化が原因で血圧が大きく上下し、心筋梗塞や脳梗塞を起こしてしまう事故につながるリスクがあります。

この本には「伴侶に先立たれると自宅が凶器と化す」という見出しがっていますが、住み慣れた家が「凶器」となるという笑えない未来が待っているようです。

企業活動についても影響が出そうです。

現在、多くの小規模事業所が深刻な人手不足に見舞われています。さらに人手不足は、後継者不足でもあります。後継者の不足により大廃業時代が訪れると予測されています。また、人手不足は自社だけでなく他社でも同じなので、外注先の不足ということも懸念されます。

それらを解消する方法として、都市部では通勤時間の削減として、テレワークが活発です。

テレワークとは、情報通信技術を活用し、時間と場所を有効に使える柔軟な働き方のこと。

遠く離れた都市部にいなくても、働く人の自宅や自宅の近所に会社がサテライトオフィスを借りて、そこで仕事をしてもらおう方法です。

今まで通勤に要していた時間を仕事に充てることができれば生産量があがり、また家族と過ごす時間も増えて一石二鳥。インターネットを使えばできる時代なので、使わない手はありません。

現に私が知っている企業さんも小規模人数(10名前後)ながらテレワークを導入されています。業種、職種によりテレワークが難しいものもあるかもしれませんが、テレワークに限らず、今はいろいろなことを試してみることが大事なのではないでしょうか。試していくことで、新しい道が見つかるのではないかと考えます。

急速な人口減少局面を迎え、これからは会社と社員がどのように仕事を進めていけばお互いの幸せにつながるのかを模索しながら考える、そんな“働き方改革”が必要ではないかと思えます。

(文/妹尾 悟)





## 今月の事務所スタッフのつぶやき

### ●夏休みの宿題



こんにちは、片山です。  
まだまだ、残暑が厳しいですね。涼しくなることを望む一方で、少しさみしくも感じます。  
今夏は、遠出はせず、近距離のお祭りに参加(ボランティア含む)したり、夏休みの宿題(子供)をしました。  
小学校2年生だからなのでしょう。まだまだ、親の宿題の部分が多く、休日は、ほとんど宿題(-\_-)。  
夏休みの宿題は、トラウマになることがあるそうですね。「最初にしんどい事をやってしまう習慣」が付くことは、後が楽なのでいいのかなとは思っています。

ただ、終わらないと落ち着かないという気持ちになることが、親になった今も続くのは正直ツライです。  
できれば子供にも、宿題より長い夏休みならではの過ごし方を教えたいと思います。でも、宿題は出るので、頑張ります。

焦燥感(なんだか落ち着かない気分)を落ち着かせる方法は、深呼吸(腹式呼吸)をすることのようです。  
あとは、日光を浴びることで、セロトニンが分泌され、落ち着きや満足感、幸福感を得ることができるようです。  
日焼けを気にして、日光を避けようとし過ぎることは良くないようなので、日傘もたまにはささないようにしようかな(\*^\_^\*)

(片山小百合)



●高梁市内の夏祭りにて

### ●初めまして



こんにちは。  
このたび事務所に入職したスタッフの筒井です。  
皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

井原市出身の3人娘の母です。  
娘たちの影響で、「嵐」「kis-my-ft2」などのジャニーズ系のCDを聞いたり、テレビや映画を見たり、コンサートに行ったりして、若返ってリフレッシュしています。

また、趣味は旅行(現実逃避もたまにはいいかも...)で、今まで行った場所で印象に残っているところは、城崎温泉、道後温泉などです。温泉も良いのですが、やっぱり、料理が美味しいところが一番です。

次は九州地方の温泉を巡ってみたいと思っています。他に、ここは必ず行ってみたいという所があれば紹介してください。お待ちしております。

慣れるまでに時間がかかるかも知れませんが、どうぞ温かく見守って下さい。

(筒井 浩美)



## 事務所日誌&編集後記

### ■8月の事務所の活動

- 2日 井原商工会議所主催「定例相談会」の相談員
- 10日 大阪・「CFコーチ養成塾」へ参加
- 17日 事務所スタッフ勉強会の開催
- 21日 井原市内の企業さまにて早朝勉強会へ参加
- 20・22日 福山市内・技能実習生向け「法的保護講習」講師

### ■編集後記

▼お盆休みに福山市の走島(はしりじま)へ家族でバーベキューに行ってきました。民宿が運営している砂浜で、アワビやエビホタテ、タコなどの食材を焼いて食べました▼島へは民宿の方が出してくれた船に乗って行きましたが、潮風にあたりながら瀬戸内海の風景を見ているだけでものんびりとした時間を過ごすことができ、癒された気分になりました。(Y)

### ●スタッフハンドブックを作成されたお客様の声

- Q1: ハンドブックを作成する前は、どんなことで悩んでいましたか?  
A: 社員に口で伝えても伝わらないし、忘れてしまう。それぞれ解釈が違い、混乱をおこす。
- Q2: ハンドブックを作成しようと思われた理由を教えてください。  
A: ハンドブックがあれば便利なので欲しいと思った。
- Q3: ハンドブックはどのように(どのような場で)使用されますか?  
A: 社員が多くなり、新人採用も増えたので、決まりを徹底したかった。
- Q4: ハンドブックを実際に作成して、いかがでしたか?  
A: 就業規則が簡潔にまとめられていて、わかりやすい。